

2019年4月8日

## 2019年度第1学期始業式 講話

皆さんおはようございます。今日から中学・高校それぞれ新入生の皆さんを迎えて、2019年度の第1学期がスタートします。新入生の皆さんは、いま期待と不安のまっただ中にいると思います。そんなピカピカの1年生を上級生の皆さんは、やさしくリードしてあげてください。そして、新入生の皆さんも、いろんなことに積極的に取り組んで、一日も早く相愛学園の雰囲気慣れ、充実した楽しい学校生活を過ごしてほしいと願っています。

皆さんもよく知っているように、平成に代わる新しい元号が、「令和」と決まりました。令和は、万葉集の梅の花の歌、32首の序文にある「初春の令月（れいげつ）にして、気淑（よ）く風和（やはら）ぎ、梅は鏡前（きやうぜん）の粉（こ）を披（ひら）き、蘭は珮後（はいご）の香（かう）を薫（かをら）す」から引用したものだそうです。この令和は、645年大化の改新で知られる「大化」以降、248番目の元号となるもので、中国古典（中国の古い書物）ではなく、日本の古典から採用されたのは、令和が初めてということです。外務省は、令和について英語では、「Beautiful Harmony＝美しい調和」という趣旨だと説明しているそうです。

これで、生徒の皆さんは、平成の世に生まれ、十数年を経て、令和の時代に青春ど真ん中を過ごすことになるわけです。ちなみに、校長先生は、昭和に生まれ、平成・令和と生き抜くこととなります。希望に満ちた明るい時代になってほしいものです。令和の元号は5月1日から使用されます。

さて、1年のスタートにあたり、皆さんにぜひ身につけてほしい「3つの力」についてお話します。

まず、一つ目の力は、「判断力」、物事を正しく判断する力です。

例えば、授業中に何をなすべきか。遅刻をしないためには何をすべきか。など、その答えは当たり前のことですが、わかってはいても、それを守れない人がいるのも事実です。法律を犯すような行為や学校の規則を破るような行為については、社会や学校が定める厳しい罰則（ペナルティ）が与えられますし、不注意による遅刻は一般社会では絶対に許されない行為です。中学生だから、高校生だからと、いつまでも甘い考え

を持つことなく、してよいことと、してはいけないことの分別をしっかりとつけてください。いま優先して取り組むべきことは何か、正しく判断する力を身につけてほしいと思います。

次に二つ目の力は、「実践力」、物事を進んで実践する力です。

正しい判断がなされても、それを実行に移さなければ意味がありません。実践力は行動力とも言えます。皆さんの多くは大学への進学を目標としていると思います。難関と言われる大学をめざす人は、人並み以上の努力、勉強を積み重ねなければ、夢はただの夢で終わってしまいます。同じことは部活動にも言えると思います。試合で勝つには、大会で良い成績を残すには、部員全員が一丸となって、日頃の練習で汗をかくしか道はありません。いま何をなすべきか正しく判断し、決めたことをひたすら実践、行動することが大切です。

さて、三つ目の力は、寛容力、心をひろく持つ力です。同じクラス、同じクラブでそして同じ相愛生として、他者を受け入れ、お互いを認め合うひろい心、大きな気持ちを持ってほしいと思います。世間では、LINEなどを使って相手を誹謗・中傷する事案があとを絶ちません。よく、痛めつけるつもりはなかった、と言われますが、いじめは絶対に許される行為ではありません。被害にあった人の気持ちを考えれば、当たり前のことですし、そのことは相愛生なら十分理解できると思います。人の過ちや欠点を厳しく責めないで、皆さんには、人の痛みがわかる人間になってもらいたいと願っています。

以上、「判断力」「実践力」そして「寛容力」、この3つの力を身につける努力を続けてほしいと思います。

それともう一つ、皆さんにお願いです。これはいつも言っていることですが、挨拶をしっかりとしましょう。「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」、お互いに気持ちよく挨拶を交わしましょう。

さあ、今日から新たな1年がスタートします。校長先生も先頭に立って頑張りますので、皆さんも一緒に力を合わせて、131年目を迎えたこの相愛中学校・高等学校を、さらにすばらしい学校にしていきたいと思います。

お話は以上です。